

# マツダRX-8オンリー走行会 第六回エイトリアンカップ

## IN筑波サーキット コース2000 イベントレポート

(2007年12月15日実施)

RTE 緑の彗星(?)



参加車両はRX-8のみ、という超限定的走行会 第六回エイトリアンカップが2007年12月15日に好天に恵まれた中、開催されました。参加者、及び今回もご協賛いただきました企業各社様にはこの場をお借りして暑く御礼申し上げます。

今回のエイトリアンカップは、タイムアタックのみの開催となりましたが、その中でも新規の企画を2つほど実行してみました。

ひとつは上位アマチュアのエイトリアン氏による「同乗走行」の実施。

ロードスターやRX-8パーティーレースシリーズチャンピオンに輝いた加藤氏に加え、現状RX-8での走行ではアマチュアで上位に位置するエイトリアン氏による同乗走行を実施することによって、参加者のスキルアップ、コミュニケーションのアップ、走行の違いなどを図る事が目的となります。

もうひとつは、8月5日のTC1000では実施しましたが、TC2000では初の試みとなる、走行Aクラス(上位クラス)による「スーパーラップ」の実施です。

Aクラスの走行時間を1枠半分とし、その代わりに同時走行台数を半分として、クリアラップを存分にタイムアタックに賭けていただきたい、との理由から今回から実施することになりました。

どちらの企画も、かなり良い感触を得た、と自負できるものとなりましたので、今後も実施できればと考えております。本年度(2008年度)も年間4回の開催(1回はTC1000)を予定しておりますので、関係者各位のご支援、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

### 走行会受付開始～走行会当日

今回、12月というタイムアタックに適したシーズンでの開催ということもあり、参加受付開始から約半日程度で定員(キャンセル待ち)状態となり、開催者としてはうれしい悲鳴をあげる事になりました。RX-8でのサーキットアタッカーのやる気が伺えます。

当日の天気予報も晴れの予報となり、後は当日の気温次第では絶好のサーキット日和となるとスタッフ全員も期待して開催当日を迎えたわけですが、当日の朝に思わぬ落とし穴に嵌る事になってしまいました。

それは、朝の常盤道の事故渋滞です。加平から三郷の先あたりまでものすごい渋滞が発生しており、常盤道を利用するスタッフまでもが影響を受けてしまいました。

土曜日開催、しかも走行は午後から、という比較的余裕のあるスケジュールでしたが、このアクシデントのために少々あわただしく準備を開始しました。



が、ここでさらに驚かされたのが参加者の「やる気」でした。なんと常盤道の事故渋滞にも関わらず、ほぼ全員が受付開始時刻から30分の間にそろってしまいました。参加者の遅刻も視野にいて、ドラミなども場合によっては若干遅らすことも当日検討しておりましたが、結局その危惧は無用のまま終わることになりました。

皆さんのやる気に脱帽です。

## 当日受付



サンタに囲まれる参加者の写真

今回の開催は上述したとおり、12月の「クリスマスシーズン」という事で、エイトリアンカップでは恒例(?)となりましたコスプレは、「サンタクロース+トナカイ」です。

第4回の「メイド」第5回の「浴衣」に続く第3弾の衣装という事で、ある意味エイトリアンカップではなくてはならない存在となってしまったこの企画、今回はなんと総勢4名の女性がサンタ+トナカイ姿での受付を実施していただきました。筑波サーキットに花を添える存在です。

スタッフ全員、この女子部の活躍、やる気には頭の下がる思いです。

エイトリアンカップではもはや欠かせない企画となりましたこの「コスプレ」、今後も趣向を凝らして継続していく予定ですが、もちろんエイトリアンカップは、「タイムアタック」を主眼とする「走行会」です。その辺りはしっかりと運営も行ってまいりますので誤解なきようお願いいたします。(笑)



## ドライバーズミーティング

走行会では欠かせないドライバーズミーティングですが、毎回コースイン、走行の注意点などの説明を行うとともに、初心者にもなるべくわかりやすいようにと、D テクニック様のご協力をいただいております（今回は加藤氏による注意点の解説をいただきました）。この場をお借りして、御礼申し上げます。



毎回、事前に参加者の皆様に注意点などを配信しておりますが、当日改めて説明を行うことで参加者全員のマナーの向上、トラブルの減少につながる大事なミーティングとなります。

今回に限らず次回以降も、わかりやすい、伝わりやすいドラマを目指して勉強していきたいと考えております。ご支援、ご教授のほど、よろしくお願いいたします。

## 同乗走行

同乗走行は、実際のタイムアタック走行中に行われました。今後も継続していきたい企画という事で、タイムアタックと前後してしまいましたが、同乗走行の方を先にレポートします。

同乗走行、それも上級ドライバーによるものは、これから更なるスキルアップを目指すドライバーにとって、非常に効果が高い企画と考えております。しかし、これを実現することは、安全面、運営など諸所の問題もあり、なかなか実現が難しいと言うのが実情です。特に安全面の問題、そして同乗をされるオーナーの方にとっても、もし、仮に車両に何らかのトラブルを発生させてしまったならば、いくら免責があるとは言っても誰も良い気持ちになりません。そのような意味でも、主催するイベントで同乗走行を行うということのリスクは非常に大きいのです。

その責務に耐えうるだけのスキルを持っているドライバーということで、D テクニックの加藤氏に同乗走行メイン担当を依頼しました。技術はもちろん、同乗走行の経験が豊富であり、安心してお任せできる方です。

そして今回初の試み、アマチュアドライバーであるエイトリアン氏の同乗走行も実施しました。通常、筑波サーキットコース2000に於いては、同乗走行に非常に厳しい条件が必要となりますが、主催者であるという点・筑波サーキットでの実績等をふまえて、同乗についても許可をいただきました。プロではないエイトリアン氏の同乗走行は果たしてどうなるのか？

加藤氏・エイトリアン氏の同乗走行を体験された参加者は総勢16名と、まずまずの人数でした。同乗を体験された方はおおむね満足されており、今後も継続して実施していきたいと思っております。

「タイムアタック」としてのエイトリアンカップの為、同乗走行の周回はタイム計測を削除するようにご配慮いただいた筑波サーキットのオフィシャルの方々にも厚く御礼申し上げます。

## 走行準備（Aパドック内）

ドライバーズブリーフィングを終え、いよいよ走行準備となります。毎回エイトリアンカップの開催のたびに悩まされます整列方法ですが、今回また新たな試みとして、【1ピット3台制】を今回実施してみました。



この配置方法ですと、ゼッケン順にある程度並べる事が出来、荷物の管理なども行うことが比較的容易なため、今回かなり好評をいただきました。参加者の皆様、関係者各位様のご意見をいただいて開催の度に成長できるエイトリアンカップの良い例と考えております。今後も皆様いろいろなご意見をいただきたく思っております。

そのご意見でさらにエイトリアンカップが成長できるようにスタッフも一同精進したいと思っております。

### 走行開始

いよいよ走行開始となります。

今回の参加台数は A 組 B 組と合わせて合計 44 台。エイトリアンカップでは、同時走行台数を減らすこと、さらにタイム順でのクラス分けを行う事なるべくベストの ATTACK をして頂こうと考えており、今回もそれを実践しています。

どちらのクラスも 1 本目は慣熟走行となります。青い RX-8 のペースカーによる先導走行を 1 周行い、その後ピットに整列。シグナルが青と同時に順次コースインしてタイムアタックがスタートとなります。

実はこのペースカーによる先導走行、今回私が狙っていたポジションだったのですが...、やはり今回もペースカーを運転させていただく事はできませんでした...

ペースカードライバーは A 組...加藤氏 B 組...エイトリアン氏のもとへ。

現在でも筑波サーキットのペースカーを運転した事のあるアマチュアドライバーはエイトリアン氏のみ...ということです。残念...



ああ...私も運転したかった...。(泣)  
(写真のペースカードライバーは D テクニック 加藤氏)

## ・ OPEN クラス（加給器可 S タイヤ可のクラス枠）

当日の気温は 12.6 路面温度は 17.6 。（12 時時点）タイムアタックとしては少々気温が高めですが、それに関わらず S タイヤ可、加給器可となる OPEN クラスでいきなり 5 秒台が出ました。RTE さわじい選手です。走行 2 本目 そして最後のスーパーラップの走行を終えると、OPEN クラスは最終的に 0.2 秒の間に 4 名中 3 名の選手がひしめき合うという熾烈なタイムアタックとなりました。

## ・ Expert クラス（ベストタイム 1 ' 09.500 以上のドライバーの希望クラス枠）

好タイムは OPEN クラスだけにとどまりません。  
このあたり、「エイトリアンカップではベストラップ更新者が続出する」という言い伝えが今回も残りました（かく言う私も昨年の 1 月のエイトリアンカップがベストラップな訳ですが）。

まず、今回新設されました、Expert クラスです。このクラスは 1 ' 09.500 以下のタイムの参加者に向けたクラスとなり、More クラスとあわせて表彰者を増やし、参加者全体のタイムアタックへの意欲の向上を目的としています。

このクラスでは、RTE みつ選手が 1 ' 07.032 をマーク。もちろん氏のベストラップ更新です。続いて RTE naomisan 選手が 1 ' 08.333。他 2 選手も 8 秒台でまとめるなど、さすが「エキスパート」と言えるクラスとなりました。



ただ、まだまだ Expert クラスの参加台数は多くありません。今後、More クラスで優勝した参加者は Expert クラスへの参加をしていただけると嬉しいです。かく言う私も、早く復帰して、この場所で腕を競ってみたいと思っております。（次回参加はリハビリも兼ねて More クラスの予定ですが...）

それにしても 2~3 年前と考えると、現在の RX-8 TC2000 のタイムの速さには驚かされます。3 年前ほどは、1 分 10 秒を切れれば速い！といわれていた時代がありましたが、現在では S タイヤを装着すれば 5 秒台、ラジアルタイヤでは 6 秒台 7 秒台のドライバーがかなり増えており、このあたり、RX-8 のチューニング方向性の進化、そして各参加選手の努力が伺えます。

## ・ More クラス（車高調など公道車検に準じたチューニングすべて OK のクラス枠）

さらに圧巻なのが、More クラスです。なんと RTE たっちゃん選手が、9 秒台の自己ベストを大幅に更新し、いきなりの 7 秒台突入です。完全に私も敗北しました...。TC2000 での「7 秒台」という壁をいとも軽々と越えてしまったたっちゃん選手には本当に頭が下がります。さらに「もと」選手も大幅なタイムアップでクラス 2 位を獲得。他参加者もやはりベストラップ更新者が続出となりました。

ただ、午後からの開催ということもあり、イベントも中盤以降にさしかかると気温的にも上昇し、最終

ヒートで実施される A 組のスーパーラップでのタイム更新者が少々少なかったことは少々残念です。このあたりは今後の検討が必要な部分となってしまいかも知れませんが、それだけ RX-8 のパフォーマンスを存分に発揮できているドライバーが増えている、ということなのかも知れません。

最終的に、B 組も含めて、More クラスは全体で 11 秒台までに全参加者が入るという快挙となりました。その中には唯一純正タイヤ (RE040) を装着した DEEP 選手も含まれております。純正タイヤで 11 秒台、この目標を成し遂げた DEEP 選手にも頭が下がります。

- ・ Light クラス (車高調 デフなど NG のチューニング規制の厳しいクラス枠)
- ・ STD クラス (210PS 5MT のスタンダード限定クラス)
- ・ AT クラス (オートマ車限定クラス)

ベストラップ更新の勢いは止まりません。Light クラスでも 7 秒台が出ます。RTE K 林選手が、1' 07.960 を達成です。Light クラスは、パーティーレース参戦者が 3 台エントリーでしたが、どの選手も今回パーティーレース車両のパフォーマンスを存分に発揮しておりました。(昨年より、一部パーティーレースレギュレーションの変更があり、車高調も一部認可となっておりますが、上記ドライバーはすべて Light クラス適合の車両です。)

また、STD クラスでも、3 台が 11 秒台。AT クラスでも 12 秒台が出るなど、正直言って決して戦闘能力では上とはいえないクラスではあるかもしれませんが、それでも好タイムが出てくるあたり、今回もエイトリアンカップの参加者レベルの高さがわかる結果となりました。

もともと、RX-8 という車は初期の状態でも戦闘力が高い車なのだ、という事が Light クラス、STD クラス、AT クラスのタイムを見て改めて実感できます。少ないチューニングでもしっかりサーキットで楽しめる車両。もちろんしっかりとした「サーキット走行への認識」も必要ですが、気軽にモータースポーツを楽しめる車両として、今後も RTE ではエイトリアンカップの開催を通じて、RX-8、そしてモータースポーツを応援していきたいと思っております。





走行もすべてのスケジュールを終了して、エイトリアンカップ恒例の、表彰式、そして、ジャンケン大会です。今回から、上述の通り、タイムアタックの枠に「Expert クラス」を新設した事により、表彰者の人数も増えることとなります。

ちなみにTC2000での「走行会」ですと、走行中のコントロールタワー順位表記は行いませんが、エイトリアンカップは、「走行会」でありながら、「タイムアタック大会」でもありますので、筑波サーキットオフィシャルに、走行中もタワーの表記をお願いしております。次回以降も、「タイムアタック」として、日ごろの鍛錬を發揮できる場としてのエイトリアンカップの開催を行って生きたいと思っております。参加者皆様のご支援、お願い致します。

## クラス別表彰結果

### OPEN クラス

順位	ドライバー	タイム
優勝	RTE さわじい	1'05.696
準優勝	RTE ミセガワ	1'05.831

### Expert クラス

順位	ドライバー	タイム
優勝	RTE みつ	1'07.032
準優勝	RTE naomisan	1'08.333

### More クラス

順位	ドライバー	タイム
優勝	RTE たっちゃん	1'07.932
準優勝	「もと」	1'08.363
3位	Fuji	1'08.529
4位	RTE KOO	1'08.693
5位	RTE よた	1'08.987
6位	RTE れじ	1'09.349

### Light クラス

順位	ドライバー	タイム
優勝	RTE K 林	1'07.960
準優勝	RTE ドコデモ 8	1'08.127
3位	やまと	1'08.752
4位	CHABO	1'09.283
5位	フォルテ	1'09.506

### STD クラス

順位	ドライバー	タイム
優勝	ライーザ	1'11.061
準優勝	ヨロヨロ	1'11.173

### AT クラス

順位	ドライバー	タイム
優勝	猿大将	1'12.914
準優勝	なかじ~	1'13.547

最後にジャンケン大会です。

今回もRE雨宮様より、かなりの目玉賞品をご協賛いただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

ご協賛いただきました賞品

RE 雨宮様

オリジナルスタビライザー × 1セット

RE SuperG for NA Eg オイル 0W-30 SL/CF 5l × 3缶

リキモリ/ハイパワージェットG × 2セット

ファン コントローラー × 2セット



その他有志様

レスポンスパイプ × 1

チャージドカラー MAZDA RX-8 フィギュア (1/43) × 4

2008年度版カレンダー × 2





## 最後に

今回、ついにエイトリアンカップも六回目の開催となりました。私は第三回までは仕事の都合などもあり、参加する事も出来ず、第四回に初参加、そしてその運営の努力、参加者のアットホームな雰囲気とすべてに魅了されて、その後第五回の「エイト祭り」では運営方に回ってさらに運営スタッフの努力に熱を感じ、陶醉した身です。

毎回思うのですが、RX-8という車のスペックの高さには走行する側として驚嘆しますし、何よりそのRX-8を使ってサーキットドライブを行う参加者各位の切磋琢磨ぶり、情報交換などのコミュニケーション、そして協力の体制、すべてに驚き、そしてこの世界が広がっていく事、それを糧に毎回エイトリアンカップの運営が出来る事に喜びを感じます。

毎回新たな試みを試していく事が出来るのも、参加者、そしてスタッフ、さらにはご協賛いただいた企業各社様のおかげだと思っております。2008年となり、本年はエイトリアンカップの開催も年四回を予定しております。

毎回、完全に成功する。などということは絶対に不可能ですが、それでも「うまくいった」と運営スタッフが胸を張って思えるイベントになるように努力をしていきたいと思っておりますし、またその努力が出来るメンバーがそろっていると思っております。

もちろん私自身も走行する側でベストラップを残したい、というのもありますし、運営側としてもその喜びを味わえればこれほどうれしいことはありません。

皆様、今後もお協力、そして、御参加、どうぞよろしくお願い致します。

R T E 緑の彗星(?)

